

春の江戸絵画まつり

2021 3.13_[土]—5.9_[日]

前期: 3月13日_[土]—4月11日_[日]

後期: 4月13日_[火]—5月9日_[日]



与謝蕪村

「ぎこちない」を芸術にした画家



YOSAN
BUSON

展示会の開催や会期、関連イベントは、
感染症の状況によっては変更や中止になる場合があります。
ご来場の際は、お手数ですが、
インターネットや電話で最新情報をお確かめください。

- 【A】「涼しさに」自画賛 前期・後期展示
- 【B】「花すゝき」自画賛 文化庁蔵 後期展示
- 【C】採葉図 前期展示
- 【D】「火桶炭団を」自画賛 東京黎明アートルーム蔵 後期展示
- 【E】「又平に」自画賛 逸翁美術館蔵 前期展示



府中市美術館
Fuchu Art Museum





薄に鹿図（前期展示） 愛知県美術館蔵（木村定三コレクション）

みどころ ①

「ぎこちなさ」から見る楽しさ

蕪村の絵を見ると、「これは本気で描いたのだろうか？」と思ってしまうような、頼りない線や素朴な描写に出会えます。本展は、そうした「ぎこちなさ」に着目して、蕪村の画業を振り返る初めての展覧会。「ぎこちなさ」を通じて、蕪村が表現した味わい深さやかわいらしさを面白さをお楽しみください。



白著翁図（《白著翁・元政身延詣図》のうち）（後期展示） 逸翁美術館蔵



山野行楽図屏風（3月13日～28日展示） 東京国立博物館蔵 重要文化財

重要文化財

「上手い」でもなく、「下手」でもなく――

「ぎこちなさ」から生まれた芸術

深く静かな趣をたたえる自然の中の情景、飄逸で洒脱な俳画、そして、どう見ても気色の悪い、いわば苦みを発散する人物画。そのどれもが、与謝蕪村（一七一六―一八三）が到達した晩年の画境です。とりわけ自然の情景を描いた作品が絶賛される蕪村ですが、さまざまな作品を見渡せば、個性と深みと面白みにあふれ、まるで絵画のおもちゃ箱を見るような楽しさがあります。

蕪村は、晩年より前から、日々大忙しの人気画家でした。ときには中国絵画そのものを思わせる見事な技を見せたり、流麗で美しい線やフォルムでうならせたりもします。しかし、それ以上多くの作品に感じられるのが、線描や形のぎこちなさと、そこから生まれる親しみやすさ、かわいらしさです。下手だということではありません。蕪村自身がその面白さを自覚して、意図的に表現しているのとは思えないのです。朴訥さと力強さの境に、あるいは、か細さと揺らめきの狭間にあるような、きわめてデリケートなぎこちなさや頼りなさが、初期から晩年まで、蕪村の絵の根幹にあるように見えます。

そんな蕪村のこだわり注目しながら、約一〇〇点の作品を集めました。それによって、「晩

年の情景絵画だけではない」新しい蕪村のストーリーに目を向けてみたいと思います。「ヘタウマ」のマンガに慣れ親しんでいる私たちには、蕪村やその時代の京都の人々と同じ感性が、きつと備わっているはずですよ。

みどころ ③

「国宝」から「初登場」まで

画家として人気のあった蕪村は、人々の求めに応じて数多くの作品を描き、今なお折々に新しい作品が発見されています。本展では、国宝や重要文化財から展覧会初登場まで、様々な作品を通じて、現代における蕪村の魅力に迫ります。

▲：富岳列松図（前期展示）愛知県美術館蔵（木村定三コレクション） 重要文化財 ▲：「涼しさに」自画賛（前期・後期展示） ▲：鸛鴛図（前期展示）北村美術館蔵 重要文化財 ▲：鳶鳥図（前期展示） ▲：宜夏図（《十宣帖》から）（後期展示）川端康成記念会蔵 国宝

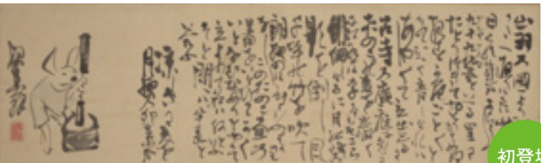
初登場

重要文化財

初登場



重要文化財



初登場



重要文化財

▲：富岳列松図（前期展示）愛知県美術館蔵（木村定三コレクション） 重要文化財 ▲：「涼しさに」自画賛（前期・後期展示） ▲：鸛鴛図（前期展示）北村美術館蔵 重要文化財 ▲：鳶鳥図（前期展示） ▲：宜夏図（《十宣帖》から）（後期展示）川端康成記念会蔵 国宝



山水図屏風（後期展示）

初登場



重要文化財



国宝

国宝級にすごい屏風絵、展覧会に初登場

長らく一般公開されてこなかった“幻の”金屏風が、この度、初めて展覧会に出品されます。金地の大画面に奥行きのある山水風景が広がるこの作品は、見る者を圧倒する出来栄えの大作。保存状態もきわめて良く、まさに「国宝級」の作品です。

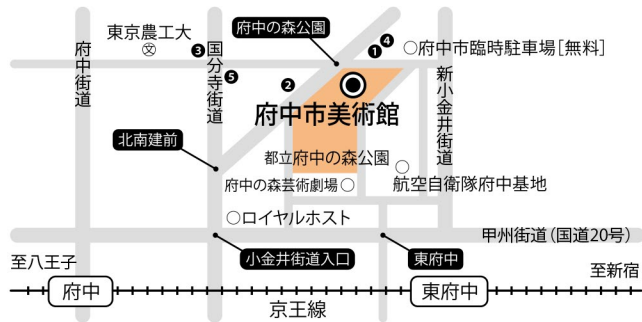
〈関連イベント〉

展覧会講座 与謝蕪村―「ぎこちなさ」を芸術にした画家 金子信久（当館学芸員）／4月3日【土】14：00（90分程度）

府中市生涯学習センター講堂（府中市美術館より徒歩5分） 無料

子ども向けイベント「ぶそん探検隊！」／会期中随時 展覧会を見ながら「探検隊ワークシート」のクイズに挑戦。

観覧料が必要ですが、府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で入場できます。年齢制限はありませんので、大人の方の参加もお待ちしております。



府中市美術館
Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1の3
ハローダイヤル
050(5541)8600
www.city.fuchu.tokyo.jp/art/

みどころ ②

「俳句」と「絵」両方を味わう楽しさ

春

の海終日のたりのたりかな――蕪村の絵を知らなくても、この句を聞いたことのある人は多いでしょう。それほど、蕪村は俳人としても有名で、素晴らしい句をた

くさん残しています。本展では、「画家にして俳人」である蕪村にしか描けない、ユーモアあふれる、かわいくて、美しく、胸の奥にずしんと来る「俳画」を揃えました。

初登場



▲



▲



▲



▲

▲：「春の海」自画賛（3月29日～5月9日展示） ▲：「四五人に」自画賛（前期展示） ▲：円山応挙画・与謝蕪村賛「己か身の」画賛（後期展示） ▲：「岩くらの」自画賛（前期展示）愛知県美術館蔵（木村定三コレクション）

二〇二一年の
春の江戸絵画
まつり」の
テーマは、

与謝蕪村

「ぎこちない」を
芸術にした画家

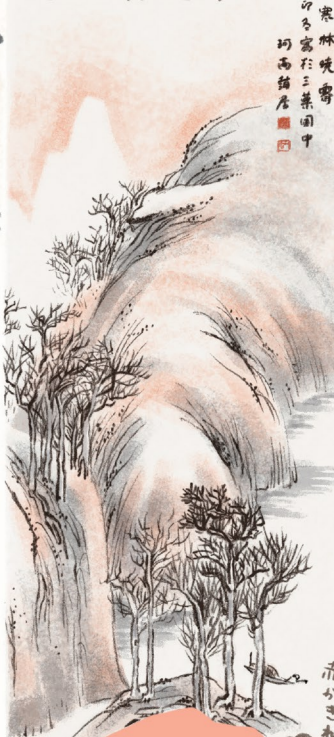
「ぎこちない
空気感」

俳人・蕪村は、
季節感や
温度・湿度に

敏感で、心地よい風景をたくさん
描いています。細部に描かれた
ちいさな木々、家々、人々がいとらしく、
そして気になるのは蕪村の筆の、
どこか抜けきらない「蕪村感」……。
おそらく「ぎこちなさ」と切っても切れない
その感覚が、親しみぶかく思われます。

寒林晩霽
この名画は三葉園中
阿西館蔵

「寒林晩霽図」より



赤がきい

「十宜帖」より
「宜夏図」

「採薬図」
より



人は絵の中に「顔」があると
注目して
しまう
ものですが、

「ぎこちない
表情」

蕪村の描く「顔」は殊に味わいぶかく、いつも
新鮮です。かわいい「顔」、ふしぎな「顔」、時には
かなり「苦み」の強い「顔」も……。顔は「白箸翁図」
「ぎこちなさ」がほんの少し
でも入ると、とても
印象深くなりますね。
何かと忘れ難い
表情に出会って
自画賛より しまいます……。



なんと
いえない！

「ぎこちなさ」
どんな感じ？

どんなふう
にたのしめる？

……という
ところを、自分の
実感をもとに、
かいてみよう
と思います。

「ぎこちない
かわいらしさ」



やはり「かわいい」は外せません。
展覧会の顔、「涼しさに」
自画賛。句の味わいや、
墨の色のふんわりとした
やさしさにも惹かれますが、
やっぱりうさぎの愛らしさが
いちばん目をひきます。

「ぼん」と
墨がにじむ
鼻が
チャームポイント

「ぎこちない」
蕪村の話

「寒林
双馬図」より

「春の海」
自画賛

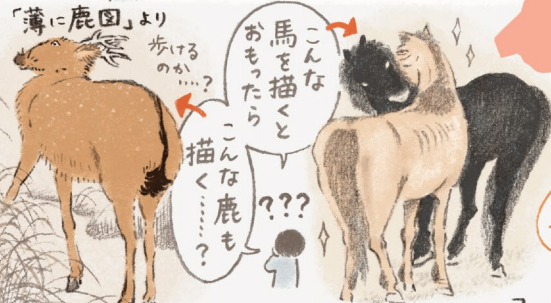
かの
有名な句



時には、「絵」と
「絵じやない」のギリギリの
キワまで行っちゃっている絵に、
「いい絵とは……？」というそもそもの
価値観を刺激されてしまうことも。
さらには、多種多様な「ぎこちなさ」に、
「どこまで無意識なのか？」と
考えを巡らせたり……。

絵！

……



「薄に鹿図」より

「こんな
馬を描くと
おもしろ
描く……」
「鹿も
描く……」

「この
馬を描くと
おもしろ
描く……」
「鹿も
描く……」

「ぎこちない
哲学」

ご紹介した作品や、蕪村の魅力は、ほんの一部です。

ぜひ展覧会で、さらにさらに多くの「ぎこちなさ」をおたのしみください。

ありがた
う
ました
ふかふか
絵と文・長田結花 (イラストレーター)